



2021年11月11日

各位

会社名 株式会社JFLAホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 檜垣周作  
(コード番号 3069 JASDAQ)  
問合せ先 広報・IR・CSR室 馬場康尚  
(TEL. 03-6311-8892)

## 新中期経営計画“NEXT JFLA 2025”に関するお知らせ

当社は、2021年11月11日付開催の取締役会におきまして、2023年3月期から3か年（最終年度2025年3月期）の新中期経営計画“NEXT JFLA 2025”を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

1. テーマ：「新たな価値を創造し、提供するグローバル食品・飲料メーカーへ」

2. 定量目標（単位：百万円）

	23/3期	24/3期	25/3期	CAGR(*)
売上高	81,000	85,000	88,000	4.8%
営業利益	900	1,600	2,000	44.0%
経常利益	600	1,300	1,800	61.2%
親会社株主当期純利益	200	750	1,000	108.7%
EBITDA(営業利益+償却費)	3,200	4,000	4,500	108.7%

### KPI

営業利益率	1.1%	1.9%	2.3%
EBITDA マージン	4.0%	4.7%	5.1%
ROE	1.8%	6.3%	7.7%
純有利子負債/EBITDA	5.1倍	3.8倍	3.1倍
純有利子負債/純資産	1.4倍	1.3倍	1.1倍

(\*) CAGR：年平均成長率

3. 定性目標

(1) グループ方針

1 持続的成長モデルの確立

- ・消費者のライフスタイルの変化に応える商品・サービスの提供
- ・デジタルトランスフォーメーション (DX)による生産・流通・販売機能の競争力強化
- ・製販一体型モデルの深化による事業の生産性と収益性の向上
- ・「食」を通じて健康増進や豊かな生活を実現する新規事業（ウエルエイジング事業）の推進

## 2 事業リスクの耐性強化

- ・安定的な生産と供給を確保する様々なリスクへの耐性強化
- ・グループ会社の収益率基準の設定（売上高営業利益率3%、EBITDA マージン5%以上）
- ・財務体質の強化（フリーCFの黒字化と負債比率の低減）

## 3 当社が目指すSDGsの実現

- ・乳業や醸造工場で排出されるCO2削減による環境保全や地域貢献の実現
- ・生産及び販売部門で発生するフードロスや食材廃棄の低減
- ・グループ各社における障がい者雇用や人材の多様化を推進

### (2) 部門別の重点目標

#### 1 生産部門

##### (乳業事業)

- ・ノンデリーと機能性飲料の開発強化による商品ポートフォリオの拡充と収益性向上
- ・設備投資と人員体制の増強による生産性の向上

##### (醸造事業)

- ・醸造技術を生かし付加価値の高い機能性飲料や調味料の開発強化
- ・海外市場向け商品開発を強化し輸出比率を高める

#### 2 流通部門

- ・ブランド・商品ポートフォリオ戦略：消費者のライフスタイルやニーズに適ったブランド・商品ポートフォリオの拡充
- ・ソリューション機能強化：取引先の課題解決と新たな価値創造の実現
- ・デジタルマーケティングの強化：電子取引、通販等のデジタルマーケティングの強化

#### 3 販売部門

- ・ブランド・商品ポートフォリオ戦略：高付加価値を有するブランドを中心に事業ポートフォリオの再構築
- ・製販一体型モデルの推進：優良ブランドの料飲から小売商品に至るトータル展開を推進

#### 4 全社

- ・新中期経営計画の実現によりプライム市場への市場替えを目指す

以 上